

本製品は家庭で調理するために使うものです。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。不適切な取扱いは事故につながります。お読みになった後は、必ず保管してください。

取扱説明書

- ガスコンロ、IH(電磁調理器)、電磁プレート、ハロゲンヒーター、シーズヒーター、セラミックヒーターに対応しています。
- 空だきはしないでください。万一空だきした場合は、水をかけたり水につけたりして急冷しないでください。ひび割れなど破損の原因になります。
- ※空だきに近い料理や、必要以上の過熱は塗膜の寿命を縮める原因となります。

⚠ 注意表示

みそ汁などの、調理物によっては、調理中・再加熱(温め直し)の際、突沸現象により内容物が噴き出したり、場合によっては鍋が転倒して、火傷や物品の破損の危険があります。なかでも赤だし味噌(特にだし入りの豆味噌)や、具が少なくなったみそ汁を再加熱(温め直し)する場合には必ず以下の事項を厳守してください。

- お玉でよくかき混ぜてから鍋を加熱してください。
- 一気に強火で煮立てないでください。
- 煮立てる際はお玉でよくかき混ぜながら行ってください。

長くお使いいただくために

- 本体に衝撃を与えると、熱した本体に水等をかけて急冷しないでください。変形や塗膜のはがれの原因になります。
- 本体の中に長時間(目安として一夜以上)料理を保存しないでください。塗膜の劣化やはがれの原因になります。
- 金属製のヘラ等の調理器具を使用する場合は角の丸いものをご使用ください。また、本体の上で材料を刻んだり、強く擦ったりしないでください。塗膜のはがれやキズの原因になります。
- 使用後はやわらかいスポンジに中性洗剤をつけて内側・外側共によく洗い、乾燥させてから保管してください。洗浄が不十分だと塗膜のふくれやはがれ、焦げ付きの原因になります。
- 食器洗い乾燥機、酸性またはアルカリ性洗剤での洗浄はしないでください。
- 焦げ付きを落とす際は、金属製の硬いものを使用しないでください。熱湯に浸して焦げ付きを柔らかくしてから取り除いてください。無理にはがすと塗膜がはがれる恐れがあります。
- スチールたわし、磨き粉等を使用しないでください。
- 異種金属製品に重ねるとサビの原因になりますので注意してください。

⚠ IH調理器具を使用する場合の注意

- IH調理器具は熱量出力が非常に高いため、[強]出力で加熱すると、本体の変形や塗膜劣化、トッププレート(天板)への外面塗料付着などの原因になります。必ず[中]出力以下で使用してください。
- ガスコンロで調理する時のように予熱をすると空焚きになる可能性があります。また、油を入れた時に引火の恐れがあり危険です。必ず[中]出力以下で使用してください。
- トッププレート(天板)にのせたまま本体をおおらないでください。摩擦や衝撃によりトッププレートにキズが生じたり、本体外面塗料が付着する場合があります。
- 加熱中に「ブーン」や「ジー」などの音(共振音)が聞こえる場合がありますが、本製品の故障ではありません。本体の位置を置き換えたり、火力(出力)を調整してください。

本製品は下記の加熱器具に使用できます。



⚠ 取扱い上の注意

- 空焚きや強火での調理はしないでください。塗膜の劣化や取っ手の損傷、本体の変形の原因になります。調理前に予熱をする場合は、油をしき弱火で加熱時間を30秒以下にしてください。それ以上の予熱は空焚きになります。

- 調理中や直後は、本体や取っ手が熱くなり、火傷の危険がありますので十分注意してください。特に、お子様の手に触れないようにしてください。

- 調理中は絶対にそばを離れないでください。

- 縁まで水や調理物を満たした状態で使用しないでください。コンロの立ち消えや火傷の原因になります。

- 加熱器具の中央部に置いて使用してください。

- 五徳の形状や調理物の量によっては、転倒することがありますので注意してください。ガタツキ等不安定な場合は、必ず取っ手を持って調理してください。その際は、火傷に注意してください。

- 温度センサー付きコンロでご使用になる場合は、温度センサーが確実に沈み込んでいることを確認してください。

- 炎が底面からはみ出さないよう火力を中火以下に調整してください。炎が底面からはみ出ると、取っ手の破損や火傷の恐れがありますので注意してください。火力が強いと本体の変形や塗膜の劣化の恐れがあります。

- 2口以上のコンロをご使用になる場合は、隣接するコンロの炎が取っ手に当たらないよう注意してください。

- てんぷらなどの揚げ物調理には使用しないでください。油温が200°C以上に達すると火災の危険があります。

- ストーブの上やオーブン・オーブンレンジ・電子レンジでは使用しないでください。火災や破損の原因になります。

- 取っ手が緩んだ状態で使用すると、脱落して火傷の危険があります。ネジを締め直してから使用してください。

- 取っ手部分を水に浸して丸洗いしないでください。取っ手の中に水がたまり、取っ手内部のネジが腐食し取っ手が脱落する恐れや、加熱調理の際に蒸気が噴出し火傷の危険があります。

- 調理物のふきこぼれによって、ガスの炎が消える場合がありますので、火加減、調理物の量にご注意ください。

- 鍋底のこげつきを防ぐために、時々調理物をまんべんなくかき混ぜてください。

- 水道水のみを沸騰させると、内面に白いはん点や変色(虹色等)が生じることがあります。水道水中に含まれている微量成分の影響によるものです。

- ガラス蓋は下記の点にご注意ください。

- ・蒸気穴の向きを手前や取っ手側に向けないでください。蒸気による火傷の原因になります。

- ・熱くなっている時、濡れたふきんで触れたり、水をかける等の急激な熱衝撃を加えると破損する原因になります。

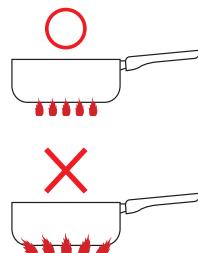
- ・耐熱ガラスではない為、急激な温度変化を避けてください。

- ・高い所から落とす等、急激な衝撃を与えると破損する原因になります。

- ・キズが原因で破損することがあります。スチールたわし、磨き粉等の使用は避けてください。

- ・破損した場合、破片が細片となって激しく飛散する特性があります。また、取り除く際に手を切らないよう十分にご注意ください。

〈火力の調整〉



品質表示

【本体】

表面加工：内面／ふっ素樹脂塗膜加工
外 面／(底面を除く) 焼付け塗装
材料の種類：本体、蒸し皿／アルミニウム合金
はり底／ステンレス鋼(クロム 16%)
(底の厚さ 3.0mm (はり底を含む))
取っ手／フェノール樹脂、シリコーンゴム
寸 法：24cm 満水容量：3.0L

【蓋】

品 名：強化ガラス製器具
強化の種類：全面物理強化
その他の材料：金属部／ステンレス鋼
取っ手／フェノール樹脂

絵表示は一般的な注意事項を示すものであり、実際の形状とは異なります。

販売者：株式会社カインズ

〒367-0030 埼玉県本庄市早稲田の杜1-2-1

【お問い合わせ先】0120-87-7111

MADE IN CHINA



#82

